

各位

ECO report 2005（環境報告書）発行について

2005年8月26日
日本特殊陶業株式会社
取締役社長 加藤倫朗

当社は、この度、当社グループにおける2004年度の環境保全活動の実績について「ECO report 2005」にまとめ、8月26日に発行しますので、お知らせします。

1.はじめに

「持続可能な社会」の実現に向けた「企業の社会的責任（CSR）」への関心が高まり、国内外を問わず、環境面や社会面における企業の取り組み姿勢が注目されるようになりました。当社は、2000年から毎年環境報告書を発行し続けており、一昨年、昨年と、社会面の内容を追加するとともに、環境面の内容の充実を図ってまいりました。

今回の報告書においても、環境面、社会面での取り組みに対する説明責任を果たすため、特に「わかりやすさ」を重視して、当社グループの環境活動のすべてがわかる環境報告書、信頼される環境報告書を目指して編集しました。

2.「ECO report 2005」の特徴

地球を見つめるカエル

美しい地球を守ることの決意を、副題と表紙のデザインで表現しています。

ページ数の増加

社会性に関する内容の追加に伴い、4ページ増やして全40ページとしました。

第三者審査

情報やデータの信頼性を確保するため、昨年に引き続き、テュフ・ラインランド・ジャパン株式会社による第三者審査を受けました。

3.「ECO report 2005」の主な内容

本報告書では、全体を経営、環境、社会の3つに区分けしています。特に、環境のページでは、2004年4月に大幅改訂した環境方針の5つのカテゴリー別に章立てし、それぞれの取り組み内容について記載しています。

・経営

- ・信頼される企業、持続可能な企業でありたいとの想いを表現しました。
- ・2004年度、「企業行動規範ガイドブック」「個人情報の取扱いに関するガイドライン」を発行しました。

・環境

マネジメント

- ・2004年度、新たに海外の関係会社2社（欧州 NGK スパークプラグ(有)、友進工業(株)）が ISO14001 の認証を取得しました。今後とも、未取得の海外製造会社での認証取得を推進します。
- ・2004年度、騒音と排水の規制値を超過する事例が、関係会社で7件ありました。
- ・環境会計における環境保全コストは、国内10社連結で8,967百万円、単独で8,401百万円でした。また、環境保全の経済効果は、単独で234百万円でした。

ファクトリー/オフィス

- ・2004年10月に(株)日特製作所とセラミックセンサ(株)、2005年3月に南勢セラミック(株)において廃棄物の有効利用率が98%を超え、ゼロエミッションを達成しました。

プロダクツ

- ・医療用酸素濃縮器「サンソメイト」において、省エネ設計、小型・軽量化、低騒音化に取り組み、2005年2月、新型サンソメイトを発売しました。

コミュニケーション

- ・環境を主体とした工場見学会の受入を推進しており、2004年度はグループ全体で14件のお客様をお迎えしました。

マインド

- ・2001年度から開催している環境大会を、2004年度は「安全衛生・環境大会」としてテーマを拡大して開催しました。また、より多くの従業員が参加できるよう、各工場・各関係会社においても、改善事例の発表を中心とした大会を開催しました。

・社会

- ・労働安全衛生マネジメントシステムの2006年冬適格認証取得を目標に、準備していません。
- ・愛・地球博のパートナーシップ事業である森村・大倉記念館「CANVAS」を、森村グループ3社とともに開設しました。
- ・ホームページをご利用のお客様に対し、個人情報保護・管理についての指針をお知らせしています。

4. その他

- 配布開始日 : 日本語版 8月31日（英語版 10月下旬）
- ホームページ : 9月中旬掲載予定
- サイトレポート : 当社の4つの工場及び国内関係会社9社について、各事業所での環境保全活動をサイトレポートとしてまとめ、9月1日に発行する予定です。

以上

（お問い合わせ先） 総務部広報課 TEL : 052 - 872 - 5896
環境安全部 TEL : 052 - 872 - 5980